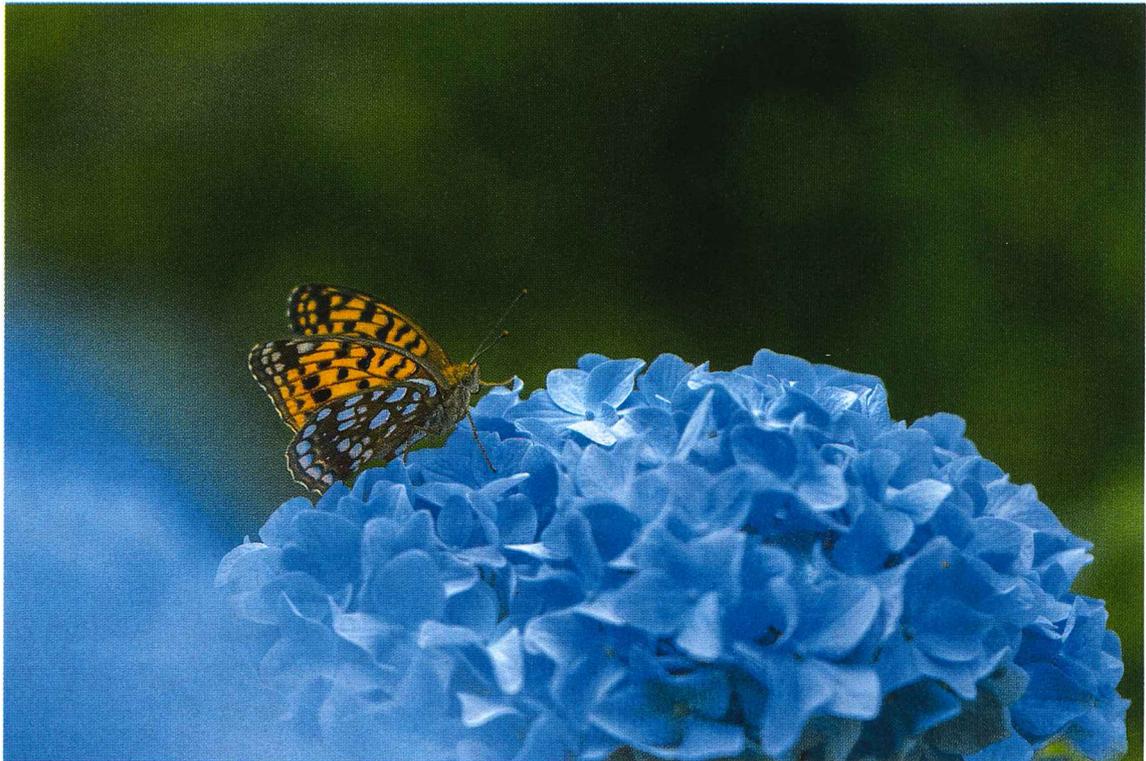


らぽう通信

【発行】
たじま医療生活協同組合
理事長 安木 洪

【連絡先】
〒668-0851
兵庫県豊岡市今森465番地の1
事務局 ☎24-7035
ホームページ
<http://tajima-coop.com/index.html>

第162号 2022.7.15



香美町村岡区相岡 撮影 池田 芳久

「あじさい・コロナ・一票」

あじさいの咲く季節になった。但馬のあちこちであじさいの花が咲いている。あじさいは顎あじさいを原種として作られた日本の園芸品種である。奈良時代から栽培されている日本の風土と季節を表現する花であり、私たちの日常に深く溶け込んでいる。

あじさいの花を観に外に出ると、まだ出会う人、すれ違う人はマスクをしている。コロナは私たちの生活に居座ってしまったのかと思う。私たちはコロナの前には思いもしなかったマスクと消毒が当たり前の暮らしを送っている。

コロナが始まって足掛け三年、ワクチンの普及と一人一人の感染予防対策の徹底は続いているが、日々コロナ報道は少なくなり、コロナはもう終わりという世間の風を肌で感じる今日この頃である。

コロナは6月20日時点で全国917万人が感染し、31063人が亡くなっている。人口1329万人の東京は157万人が感染し死者は4561人。人口858万人の大阪は99万人が感染し死者は5103人。人口541万人の兵庫は43万人が感染し死者は2246人。死者の実数は大阪が一番で二番が東京、三番が兵庫である。大阪・兵庫の医療体制の厳しさを数字が表している。

連日大阪の知事や市長がテレビに出て、コロナについてあれこれ発言をして人気を得ていたが数字はリアルである。

いろいろ言っても、医療体制が脆弱で医療崩壊を起こした事は否定出来ない。医療が崩壊したら死者が増える。医療体制を作り支えるのは国や自治体の行政の役割である。行政が脆弱であったことも否定出来ない。

行政の強弱を決めるのは政治の力である。そして、政治は国民の投票によって作られる。

一票が生活と命に直結すると思えば疎かには出来ない。

梅雨晴間一票にある重さかな なお規

第27回通常総代会 6月25日(土)

「つながりを絶やさず健康で安心して 住みつけられるまちづくりをすすめます」

全国の事業所・団体から連帯のメッセージが届く

但馬空港ターミナルビル多目的ホール



安木 洪 理事長あいさつ



新型コロナウイルスの感染拡大が収束しない中、組合員及び職員の皆さまが、工夫を凝らしながら日々の活動を担ってくださっていることに感謝申し上げます。

ロシアによるウクライナへの軍事侵攻が一刻も早く終結し、真実の平和の構築に向けての歩みが進められることを強く願う。

後期基本計画に基づき進めている「調和のとれた施設の整備」について報告する。

建設計画を進める上で、「所長の後継問題」「介護事業所の経営改善」「組合員の理解」等の問題があった。

「所長の後継問題」では、法人医師対策委員会、兵庫民医連医師委員会の取り組みにより、県連医師委員会から所長医師・担当医師が派遣され、診療体制が維持される中、昨年10月から和田所長を迎えることができ、但馬地域の特性に応じた地域包括ケアの中核

を担っていただいている。

「介護事業所の経営改善」では、収益増を図るため利用件数の増加に努めてきたが、厳しい結果になった。今後も経営の安定化のため、職員不足の解消に努めていく。また、診療所においては、診療に関して具体的な強み・良い所を広めて収益増につなげる必要がある。建設計画を進め、安定した経営を行う上では、法人全体で経営努力をすることが必要だ。

「組合員の理解」では、組合員や職員に対する建設計画の説明が不十分であったとして、改めて議論を深めていくことが必要だ。

次に施設整備を実現するため、建設推進委員会の今後の取り組みについてお話しする。

新施設については、医療と介護の一体的事業展開を図り、地域のくらしや助け合いの活動を広げていく上で大切な課題だ。

くらしの助け合いの会「なんなっと」へ大きな期待が寄せられている。日常生活支援やたまり場づくりを進め、助け合いや健康づくりの活動を

より広範な地域へと広げ、医療・介護の事業所を持つ医療生協だからこそその強みを発揮していく。

組合員・地域住民が住み慣れた地域で安心して生活できるように、「医療生協らしい地域包括ケア」「地域まると健康づくり」を進め、地域での役割を発揮する。また、自治体との連携を強め、対外的にも伝わる活動を行っていく。

組合員・職員・地域住民の声を聞く中で、建設計画案・中長期財政計画を策定する。支部の自主的な活動を援助し、建設計画の土台となる仲間ふやしと出資金ふやしの取り組みを進める。

このように、施設建設への懸念・課題を解決し、改めて組合員・職員・地域住民の要求にこたえた建設計画を提案できるよう取り組んでいく。支部・地域・事業所で、新施設についての積極的な議論を深め、よりよい計画となるようご協力をお願いしたい。

コロナ禍で多くの制約がある中、感染対策に万全を期して業務遂行していただいている職員の皆さまに改めて心より感謝する。

議案提案

2022年度の事業と運動のすすめ方等、5議案を提案した。

討論



裕代 千葉 千

新施設建設計画について、診療所・介護事業所・組合員活動の場の総合的な施設が、今本当に必要とされている。2016年に提案されており、現在バラバラのものが一つになることで連携が強まり、魅力的なものとなる。計画を早くスタートさせるべきだ。

さらに、組合員からはデイサービス、ショートステイや特養等を要望する声がある。南但・北但西部からの、医療・介護等の要望にも、できることから関わっていくべきだと思ふ。



昌代 中島 中

神美支部は9人の総代を選出した。今回の総代会は参加人数をしばって行うとの連絡を受け、その中から改めて出席者を選ばなくてはならず、支部長として辛い立場に立たされた。参加人数を限定するのであれば、初めから定数を減らしてはどうか。



和田 陽介
オブザーバー

昨年10月にろっぽう診療所の所長に就任した。予防接種・健診・リハビリ・在宅医療等、患者と関わる中で、人生の最終段階での医療について事前に本人・家族と医療者が話し合う取り組み(ACP)が必要だ。ろっぽう診療所がかかりつけ医としての機能を発揮できるようにしたい。
法人の各事業所や委員会が同じ方向に向かって、より力を発揮できるように取り組んでいきたい。

お題のまじり

新施設建設計画や、南但・北但地域からの医療・介護等の要望について、たじま医療

生協の未来を見据えて進めていきたい。

総代の定数については、定款で決まっている。今回はコロナの状況をみて、出席者を限定しての総代会とした。

表彰

支部表彰

新田・中筋支部(コロナ禍での訪問による加入促進)
やぶ支部(養父市独自の高齢者補聴器購入補助実現)

事業所表彰

ろっぽう診療所、介護事業所
えがのおの4事業所(コロナ感染リスクの中で事業の継続に尽力)

永年勤続表彰(勤続10年)

- 古谷 弥生さん
平井 美千代さん
春木 圭介さん

採決

提案されたすべての議案は、賛成多数で承認された。

新旧役員紹介

理事

- 安木 洪
(理事長・代表理事)
- 木下 和茂 (副理事長)
- 西垣 栄 (副理事長)
- 藤井 高雄 (副理事長)

退任理事

- 梅垣 恵子
- 川嶋 正弘
- 彦坂 陽子
- 宮本 加代

監事

- 伊藤 邦明
- 中村 典子
- 橋本 一郎

名誉理事長

- 前田 貞夫
- 干葉 裕

松本 幹雄
(専務理事・代表理事)

2022年度総代

新田・中筋支部

- 石黒 誠一 井上 久子
- 岡 美佐子 奥 君子
- 小田垣洋子 金澤 久子
- 神尾与志廣 小西 一美
- 小西 恵子 島貫 敏乃
- 高田 雅子 高橋 増子
- 南北美津枝 広瀬 幸子
- 藤田喜久子 松島美代子
- 村岡 敏和 村岡 廣子
- 和田 和人

神美支部

- 秋和 吉数 岡本 邦夫
- 岡本留美子 貝口 正規
- 田和 良樹 中島 昌己
- 濱上 妙子 百合 功
- 和田 妙子

鶴城支部

- 稲葉 麗子 岩崎 勇
- 越智さか枝 小牧 忍
- 正垣 利秋 高垣 圭介
- 竹中 明規 中島 嗣夫
- 福井 康子

亀城支部

- 安治川敏明 安治川陽子
- 足立美都子 金子喜代美
- 木下 賢司 高尾伊津美
- 千野 節子 千葉 裕
- 千葉 保子 山西 洋平
- 脇 良伸

北西支部

- 池田志津恵 上田 伴子

- 中家 和美 中奥 正幸
- 長野 桂子 福井 朋子
- 前田 嶺子 宮本 利明
- 村岡まゆみ 八木 哲夫
- 米田もとみ 和田 忠司

- 日高支部
- 大植 厚子 岡本 了介
- 尾崎 緑 曾我 律子
- 中嶋八重子 長岡 正樹
- 成田 浩文 宮嶋恵美子
- 柳沢 義春

- 朝来支部
- 足立 重明 桑島 哲朗
- 波多野増美 藤室 清子

やぶ支部

- 上田 政己 竹山 公八
- 津崎 和男 藤原 広巳
- きたみ支部
- 川崎 綾子 小林 良子
- 高尾 仁 谷岡 滋雄
- 西村 素子 平井 康正

美方支部

- 池田 芳久 橋本 文子
- 南垣久美子 宮下玄比古

出石支部

- 田中 早苗 西野 草子
- 西野 信義 道北紀代江
- 湊崎紀代美

職員

- 小谷 文子 春木 圭介
- 福井 和佳 福島小百合
- 古谷 弥生 宮田 由紀
- 森田寿美子 脇 芳江

認知症ほっと⑩

ほめてあげましょう

前田 恵利

「実は認知症だつて診断されちゃつてね。これから迷惑かけるかもしれないけどよろしく頼むよ」と、気軽に周囲に話せる時代はまだ先のことではじょうか。認知症の人とコミュニケーションをとり上げます。

以下三豊市立西香川病院医師の大塚智文氏の論文を一部紹介します。

認知症の治療を受けている方に「認知症になつて辛いことは何ですか」と問つた。「なにがつかう言つて、周りの者がいままでと同じように接してくれなくなつたのが一番つかう言つたこと。」

認知症と診断された人には、自分がどう扱われるかに敏感な人が多いようです。本人は自信低下、自尊心の傷つき、負い目や罪悪感、自分だけはじぎ出されていふような疎外感、孤独感などを感じています。

大塚氏は「長生きすればだれでも認知症になりえます。これからの人生には、もの忘れや失敗が多いか少ないかより、楽し

みや満足が多いか少ないかのほうが大切」と述べています。
(日本認知症ケア学会誌2020、19-20)。

決定的な予防法はなく、早い遅いや程度の差はあれ、多くの人が体験する世界です。できるだけ良い状態で長く過ごすことを目標にします。必要な対応をいふつかあげます。

できないこと、間違い、失敗を指摘され続けると、だれでも悲しく、不安が高まり、怒りすら感じてきます。特に困らない限り「間違い」は訂正しません。日時、年齢、スケジュールなど、忘れてもなかりに受け止めます。一方で、できることをほめて、

たことは大きく称賛し、本人が気づいていないこともほめ言葉にするなど、自信や意欲を増します。

「認知症が進まないようがんばれ」という励ましは、進行したら本人の責任といふことになり、息苦しさを増強させます。むしろ「あなたらしく楽しく生きてほしい。そのままです」といふかかわりに近づけるといふ

思います。

認知症になつていないかのことが本人がふるまう「否認」といふこともしばしばあります。そのついでに否定していれば、事実を何度も説明し正確な病気の知識をもたせようと強制しません。

本人にとつて、起こつたことを受け入れるのはあまりにも苦しくつかうので、あえて認めないようにつて自分を保つていふこともあるのです。

今回は認知症が進行した人とのコミュニケーションです。



ユニセフ ウクライナ緊急募金

ユニセフによる、ウクライナ国内での支援を拡充し、近隣諸国での難民支援を展開するための募金にご協力いただきありがとうございます。皆様から寄せられた92,633円は、公益財団法人日本ユニセフ協会に送金させていただきました。

ろっぽうクイズ

2022年度たじま医療生活協同組合の総代は何人でしょうか？

- ◎ 100人
- ③ 75人
- ② 25人
- ① 25人

はがき、FAX、メールにて、クイズの答えと、医療生協に対するご意見やご感想を添えて「たじま医療生協クイズ係」までご応募ください。

正解者の中から抽選で3名様に、図書カードをプレゼントします。ご住所、お名前をお忘れなく。当選者は次号のろっぽう通信で発表します。そのさいペンネームでの記載をご希望の方は、併せてご記入ください。

締め切りは8月15日です。

ご意見・ご感想より

● 診察だけでなく、検診でもお世話になつています。毎回緊張しながらですが、皆さん優しく、丁寧に説明もしていただき、受けてよかったな、来年も必ず受けようと思いを新たにする機会となつています。

● 前号のろっぽう診療所和田所長先生のリハビリテーションの記事を読んで、リハビリにも色々あることを知つた。今後先生に色々な病気について教えていただきたいです。

● 「認知症ほっと」を欠かさず読んでいます。日本人って、愛情表現が苦手ですよね。相手に好意を伝えることつて、お互いを尊重して、高め合つていふことじゃないかな。

● 前回の答えは「④ヤングケアラー」でした。

● 正解者の中から抽選の結果次の方に図書カードを進呈します。

● おめでついでございます。

- ボブキャットさん (豊岡市)
- 平和が一番さん (豊岡市)
- 平和の折り鶴さん (朝来市)

宛先

〒668-0851
豊岡市今森465-1
たじま医療生協クイズ係
FAX 0796-24-7010
メールアドレス
info@tajima-coop.com

委員会だより

健康推進委員会は、たじま医療生協の組合員さんの、健康意識の向上を図ることを目的に、月1回委員会を開いています。

取り組みとしては、「健康チャレンジ」や、豊岡市との懇談を通じた医療・介護施策の充実を求める要望等を毎年行っています。

以前は、コープデイズ豊岡店での「まちかど健康チェック」やろっぽう診療所での「抱っこポランテア」に取り組みでいきましたが、現在はコロナのため休止しています。

コロナ禍で日常生活が制限され、運動不足や栄養不足、人とのつながりが薄くなるなどの問題が出てきました。このような状態が続くと「フレイル」に近づいてしまいます。

「フレイル」とは心身ともに機能が低下し、社会的つながりが弱くなった状態のことです。それを予防するためには、栄養バランスのよい食事を摂ること、適度な運動をすること、社会参加をすることが大切です。

4月29日に「フレイルを予防して健康寿命をのびよう」

健康推進委員会

と題した集会を行い、チェアエクササイズ、インストラクターの小西晶子さんに、椅子を使って簡単にできる運動を教えてくださいました。

みなさんも、できる範囲で運動を続けてフレイルを予防し、コロナ禍を乗り越えましょう。



チェアエクササイズの様子

ひよこまの会 健康チャレンジNONO

毎年行っている、兵庫県内の医療生協や購買生協などとの共催の取り組みです。今年も7月下旬頃から行います。

お問い合わせは、たじま医療生協事務局まで。参加希望の方には7月中旬頃にパンフレットをお渡しします。

『なんなつと』通信

なんなつと支援員

湊崎 博

「なんなつと」では障子張替えと網戸張り替えをさせていただいています。そもそもきっかけは、診療所事務所の網戸が破れていて修理したのが始まりでした。(まだその頃なんなつとは無かった)シルバー人材センターの障子張替え講習会に参加もしていたので、やればできるくらいに思っていました。

国鉄・JR時代の先輩Aさんとの作業でしたが、それはそれはこだわりの持ち主。用具のカッターナイフの刃の薄さ・使用する障子紙の強弱・のりと薄める水の分量・ミキサーにかけて濃さの調整など面倒がらずおもしろ楽しみながらしておられました。

私も弟子としてしっかりと教えて頂きました。又、蜂の巣駆除の作業もやりました。夕方になれば蜂の動きが鈍くなるので、夕暮れを待ち、両具と防虫ネットの帽子をかぶり完全防護姿で除去に成功(暑さと冷や汗で全身べっしょりでした・・・)

年を重ねてきた今日まで、たくさんの方たちにお世話になってきました。今少しでも皆さんのお役に立つことができたら、無理に背伸びをしなくても出来る時に、出来ることをさせていたろう。日々健康で元気に、そしてちょっとポランテアさせてもらって過ごすことが出来たらいいなと思っています。

急募

- 診療所看護師(非常勤)
- 介護支援専門員(常勤・非常勤)
- 訪問看護師(常勤・非常勤)
- 訪問入浴看護師(非常勤)
- 訪問入浴介助員(非常勤)

担当：松本・瀬渡まで
(TEL 0796-24-7035)

一緒に「助け合い活動」に参加しませんか？

お問い合わせは
「なんなつと事務局」
☎0796-24-7015
まで！



ろっぽう診療所 診療時間

診療体制	月	火	水	木	金	土
午前 9時~12時	○	○	○	○	○	○
午後	~ 往診・予防接種 ~					
夜間 16時~18時	△	△	○	△	○	△

受付時間 午前診療 受付 8:30~12:00
午後診療 受付 15:30~18:00
日曜・祝日休診

ろっぽう診療所

〒668-0851 豊岡市今森465-1 ☎24-7007 F 24-7010

介護事業所 えがお

〒668-0852 豊岡市江本396-1 101号・102号
☎24-7013 F 24-6154
居宅介護支援事業所えがお
☎24-6144 F 24-6154
訪問看護ステーションえがお
☎24-4731 F 24-4733
ヘルパーステーションえがお
☎34-9110 F 24-4733
訪問入浴サービスえがお

虹のひろば

2022『国民平和行進』

広島に向けて6月4日、富山県を出発した『国民平和行進』日本海コースは7月4日豊岡河梨峠で京都府から引き継がれました。コロナ禍で3年ぶりの行進です。「核兵器は絶対いらない」、世界で唯一の被爆国、広島出身の日本の総理大臣がなぜ核兵器廃絶と叫ぶのか、世界の流れです。但馬各地で元気に訴え9日鳥取県に引き継ぎました。



グラウンド・ゴルフ大会

5月16日に豊岡市の玄武洞スポーツ公園で行い、67人が参加しました。好天に恵まれ、さわやかな午後のひと時を過ごしました。

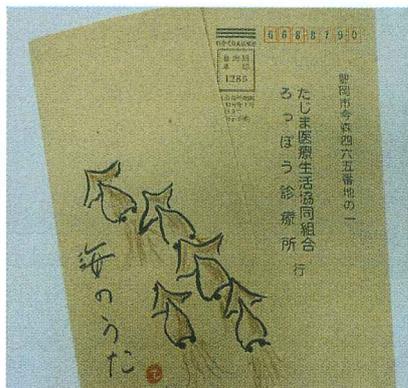
次回は秋に開催を予定しています。

美方支部 瀬戸浦照子さん

署名が入った返信用封筒の裏面に書いて送っていただきました。



御殿まり 出石支部 西野操子さん



絵手紙や手芸作品の写真などをお寄せください。紹介させていただきます。

わたしのおすすめレシピ

② 梅巻き寿司

～暑い夏をさっぱりと～

栄養士 岸本 美津子

材料(4人分)

- 寿司飯 米2合 寿司酢(酢大さじ3、砂糖大さじ2、塩小さじ1)
- 寿司海苔 3枚
- 卵焼き 卵3個 砂糖、塩、だし 各少々 サラダ油適宜
- 梅干し 大3個
- カニ風味かまぼこ 9本



- 1 米を少しかために炊く。寿司酢を合わせてさっと加熱し、炊きあがった飯に混ぜる。
- 2 卵に調味料を入れ、1枚の卵焼きを作り縦に6等分する。
- 3 梅干しは、種を除いて包丁で細かくたたきペースト状にする。
- 4 青じそは縦半分に、キュウリは塩ずりをして縦に細く切る。
- 5 巻きすの上に寿司海苔と寿司飯を広げ、具をのせて巻く。
巻くときは、具材を軽く支えながら一気に巻き込む。



*巻きすがない時は、アルミホイルを2~3重に重ねたものを使うと、安定して均一に巻くことができます。

慣れないうちは、寿司海苔を縦半分にして半分ずつ巻いても良いです。お弁当にも、今から練習してお祭りや節分にも作ってみませんか？